

街に緑を  
森に豊かさを

No.76  
令和元年9月

# グリーンバンク

## だより

公益財団法人 静岡県グリーンバンク

〒420-0853 静岡市葵区追手町44-1 静岡県産業経済会館7階 TEL.054-254-1975 FAX.054-255-6495  
URL:<http://www.greenbank.or.jp> E-mail:green-bank@greenbank.or.jp





## グリーンバンク専務理事 就任あいさつ

公益財団法人 静岡県グリーンバンク  
専務理事 八木 孝佳

皆様におかれましては、日頃からグリーンバンクの緑化推進・森林整備事業等に、ご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、高木春夫専務理事の後任として、就任いたしました八木孝佳です。

高木前専務理事におかれましては、長きにわたりグリーンバンクの発展にご尽力いただきました。平成29年4月懸案となっていた静岡県緑化推進協会との合併を実現してのご勇退となりました。これまでのご功績に心より感謝申し上げます。

さて、グリーンバンクの歴史を紐解きますと、公害問題が発生した、昭和40年ながら緑豊かな生活環境を求める声が急激に高まり、静岡県では、県民総参加の緑化運動の一環として、1977年(昭和52年)1月、県、市町村及び県内企業の出資により「静岡県グリーンバンク」が財団法人として設立されました。平成25年には公益財団法人に認定され、平成29年4月静岡県緑化推進協会との対等合併を経て今年で42年目を迎えました。

この間、県民一人ひとりに、環境緑化の重要性を認識していただくことが一番大切であるとの方針のもと、「民間活力」による豊かな生活環境づくりを目的に掲げ、県や窓口である市町と連携し住民が自主的に行う緑化ボランティア活動を応援してきました。

時代は設立時の昭和から平成、令和へと移り社会情勢も大きく変わる中、失いつつある自然環境下では、森林整備、環境緑化への取組みは、益々推進しなければならない重要な課題になっています。

グリーンバンクでは、事業の柱である花と緑の街並みづくりを支援する定期配布事業や静岡県が策定した緑化推進計画の重点施策である「緑化推進に関わる人づくり場づくり」にも重要な役割を果たす緑化コーディネーター養成講座、緑化活動を実践するボランティア団体を支援する緑化グループ支援事業、森林整備では、国土緑化運動の中心である「緑の募金」事業など代表的事業のほか、近年では、花を教材に子供の情操を育む「花育」や公共への天然芝の普及活動、今年開催されるラクビーワールドカップや来年の五輪を控え訪日客をもてなすための、おもてなし空間整備事業など新しい事業にも積極的に取り組んでいます。

今後は、従来の事業を引き継ぎながら、事業の充実と効率化、人材の資質向上を図り、合併効果としてワンストップで対応できる、プラットホーム態勢を整えてまいります。また、事業を持続的に発展させるために、団体・企業・個人の賛助会員を増やす一方、これまでにない新しい手法を取り入れて協力企業を募るなど、県や市町の緑化担当部署と連携し課題である自主財源確保に取組んで行きます。

最後になりますが、グリーンバンクの財産であり、応援団でもあるボランティア団体の皆様や会員の皆様はもとより、企業や自治会の方々と協力し、令和の時代に更なる飛躍をしたいと考えます。

どうか引き続きのご支援、ご協力をお願いし、就任のあいさつとさせていただきます。



## 退任に寄せて

公益財団法人 静岡県グリーンバンク  
前 専務理事 高木 春夫

このたび、私は、令和元年6月26日開催の定時評議員会に於きまして、14年近くお世話になった静岡県グリーンバンク専務理事を退任させて戴きました。

思えば、グリーンバンクに入局した平成17年当時の世論は、「行財政改革」が声高に叫ばれ、「官から民への流れ」を促す時代でした。

静岡県でも、外郭団体や関連団体の整理統合の動きがあり、県の出資比率9%のグリーンバンクは、いち早く民間主導への移行を決め、歴代知事が務められた理事長は、平成16年に平野孝雄理事長に交代。その翌年、私は県職OBの後任として専務理事に就任しました。

当初は、行政主導の事業運営に些か戸惑いましたが、県担当課の協力を得て、「県民一人ひとりの緑化活動」を促進するための「ボランティアの育成と支援」をグリーンバンク事業の柱に据えました。特に研修に注力した結果、この間の各種研修の修了生は千名を超える、今、県内各地で、多くの修了生がリーダーとして活躍しています。また、一部の修了生は「グリーンバンクサポートクラブ」に入会し、人的ネットワークの拡充と高いレベルの緑化活動を目指しながら、当法人の事業推進にも大いに協力頂いています。

なお、設立当時からグリーンバンクの財源は、県内90ゴルフ場でプレーするゴルファーの1回50円の寄付金(平成24年度182百万円)に支えられていました。この制度は、全国で唯一静岡県だけの素晴らしい知恵で、県土の緑化推進に多大な貢献をして頂きました。

しかし乍ら、ゴルフ場協会の県への「ゴルフ利用税」引下げ交渉の決裂から、残念ながら平成25年度末をもって、35年の歴史に幕が降りてしまいました。

財源の問題を機に、予てからの課題であった、目的が同じ「公益社団法人静岡県緑化推進協会」との合併問題が浮上。これは、就任時に示唆されたことでもあり、覚悟を決め取組むことにしました。外部委員の「答申」を踏まえ、県と両団体の「三者協議」は二年間、二十数回を重ね、都合3年間の合意形成期間を要しましたが、平成29年4月1日新生グリーンバンクは誕生しました。

新法人は、「緑の募金」を取扱い、都市緑化から森林づくりまで幅広い緑化に関わることから、緑化に関わる県民の「プラットホーム」の役目を担うことになり、その機能充実が今後の課題ですが、幸いにも後輩たちが意欲的に取り組んでおり大いに期待している処です。

最後に、平野孝雄・中山正邦両氏の人間性豊かな理事長の下で、課題の都度的確な経営判断を仰ぎながら組織運営に携えたことはこの上ない光栄な時空でした。改めてお二方に感謝申し上げ退任のご挨拶と致します。



本園「こども広場あんり」は、平成28年より認定こども園に移行し地域に根差した園として日々子どもたちの主体性を大切に保育を行っています。

平成30年から教育保育要領の改訂にも伴い、子どもたちが遊びとなる・遊び込める環境作りとして園庭の改修を行いました。

土・砂・水に触れ、想像力を膨らませることのできる遊びの環境作りと共に、視覚と肌で感じる自然豊かな園庭作りのために静岡県グリーンバンクのご支援を頂き芝生化に取り組む事となりました。

6月16日「みんなの園庭、みんなで造ろう」の呼びかけで、園児・保護者・卒園児・園（法人）役員・職員が集まり、グリーンバンクの方々のご指導で芝生の苗付けを行いました。

苗付けは、子どもたちの得意な穴を掘る、足で軽く踏む等の簡単な作業で「自分たちでやつた！」との達成感が笑顔に表れました。

日々、自分たちが造った園庭に広がっていく芝生の成長を目にし、これからも大切に愛してくれることで



## みんなの園庭 みんなで造ろう

リポート1  
こども広場あんりより  
園庭等芝生化モデル事業

掛川市

## 緑のグラウンドで

リポート2  
社会福祉法人見晴学園より  
園庭等芝生化モデル事業

三島市

感じられるよう、緑豊かな環境のもと、のびのびと屋外での日中活動に取り組んでいきたいと思います。

利用者の皆さんは、毎朝のラジオ体操など、グラウンドで活動する機会も多く、できるだけ良い環境で活動してもらいたいとの思いで、今年度、静岡県グリーンバンクの助成制度を活用し、グラウンドの芝生化に取り組みました。

スプリンクラーの設置工事の後、6月15日のポットの芝生苗の植え付け作業には、NPO法人グラウンドキーパーズ職員2名の方のご指導の下、職員約50名が集まり芝生の植え付け作業を行なっています。

現在、植え付け時には小さかつたポット苗も順調に成長していますが、比例して雑草も成長していることから、職員は雑草を地道に取り除く作業を行なっています。



# 芝生文化創造事業

芝生と私たちの生活が、より密着・調和することを目指して、植え付けから維持管理まで、地域の「芝生化」を応援しています。



**芝生を育てよう！**  
—芝生緑化に向けての今後の取り組み—

**現地  
リポート!**











### 公益財団法人 静岡県グリーンバンク

静岡市葵区追手町44-1 静岡県産業経済会館7階  
TEL.054-254-1975 FAX.054-255-6495

URL:<http://www.greenbank.or.jp>  
E-mail:green-bank@greenbank.or.jp



グリーンバンクは、静岡県の豊かな森林づくりをサポートしています。